

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

AL アミロイドーシスに対する造血幹細胞移植の後方視的検討 二次調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院第一内科

【研究責任者】 宮崎 幸大（愛媛大学医学部附属病院第一内科 助教）

【研究代表者】 淵田真一（独立行政法人地域医療機能推進機構京都鞍馬口医療センター血液内科）

【研究の目的】

過去に受診された AL アミロイドーシスの患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は AL アミロイドーシスにおける有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 1999年12月から2015年12月までに愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち AL アミロイドーシスと診断され、自己末梢造血幹細胞移植治療を受けた患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【共同研究について】

この研究は、日本造血細胞移植学会造血細胞移植登録一元管理委員会が設置

する多発性骨髄腫ワーキンググループの一研究課題として立案、計画、遂行され、他の病院や研究施設と共同で行っています。詳細は日本造血細胞移植データセンターのホームページに公開されています。

(http://www.jdchct.or.jp/study/trial/dc_2017_2.html)

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、保存した電子ファイルをセキュリティー管理された WEB システムにアップロードすることによって日本造血細胞移植データセンターに送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 第一内科 宮崎 幸大

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院第一内科 宮崎 幸大

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5296